

# トランスナショナルデジタルアーカイブの 構築による近代日本植民地史の研究

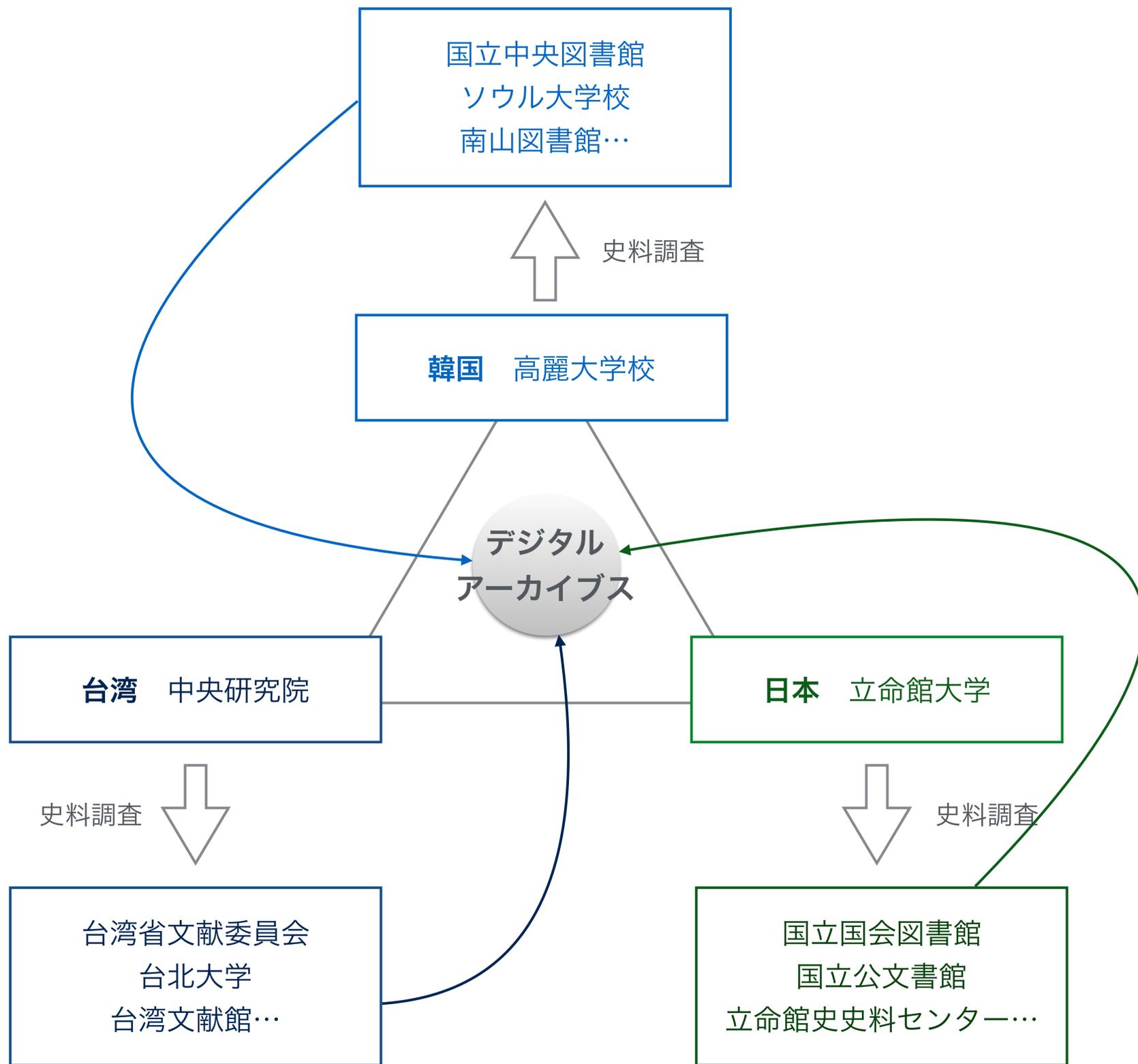
The Research of the Japanese Colonial Period by Constructing the System of Transnational Archives  
プロジェクトリーダー 山崎有恒（文学部）

Web上に植民地期アジア研究のためのデジタルアーカイブを開設

「近現代東アジア史研究デジタルアーカイブ」（仮称）

デジタルアーカイブを利用した国際共同研究の実施

当面は植民地朝鮮の文化、植民地台湾の経済研究



## 目的 Purpose

アジアと日本のあいだに存在する歴史認識問題を乗り越え、「恩讐の彼方」を目指すべく、新たな歴史研究の枠組みを構築することで、アジアと日本との相互理解・和解を推進しようとするものである。

具体的には、日本がアジアを植民地化した時期（1895年～1945年）（本書類では、当該期の歴史研究を近現代東アジア史と表記する）を対象とし、その支配下で何が起きていたのかを（特に経済・社会・文化面に着目して）、実証的に明らかにしていくための、国際的な史料（歴史資料）情報ネットワークを構築する。

## 目標 Goal

- ①Web上に植民地期アジア研究のための「デジタルアーカイブ」（「近現代東アジア史研究デジタルアーカイブ（仮称）」）を開設する。
- ②史料情報を共有するメンバーに、より共通するテーマを設定して国際共同研究を行う。